

シラバス(授業内容)

インナービューティ科 2年

エステティシャン専攻

シラバス(授業内容)

科目名	ITコミュニケーション			クラス名	R2A	
1年単位	前期	-	後期	1 単位	1年合計単位	1 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師	田中 みゆき					
	実務経験	有	企業研修や大学での授業経験をもとに、企業のニーズに応えられるよう指導を行います。			
目的及び概要	現代社会においてはパソコンが使えるだけでなくパソコンを活用できる能力が必要とされています。1年次で学んだ基礎技能の復習を行いながら、Word、Excel、PowerPointの応用的な機能を学習します。					
到達目標	Wordで表現力のある文書を作成することができる 作表スキルの習得と、データを扱うための力を身に付ける プレゼン資料を作成できる					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	Office2016(実教出版 1年次使用)					
<授業計画>	前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	iPadでお礼状の作成	お礼状の作成			
第2回	2	Gmailとドライブ活用	メールの作成 添付ファイル Googleドライブの活用			
第3回	3	表の活用しよう	Word 表を挿入したビジネス文書の作成			
第4回	4	表現力のある文書の作成	Word 図や図形を活用した文書の作成			
第5回	5	プレゼン作成	PowerPoint 基本操作復習			
第6回	6	プレゼン作成	PowerPoint 画面切り替え効果 アニメーション効果 印刷			
第7回	7	関数を使おう	Excel オートフィル 関数 表の編集			
第8回	8	ワークシートの管理	Excel オートフィルの活用 ワークシートの管理			
第9回	9	グラフ機能	Excel グラフ機能			
第10回	10	Excelで表を作成しよう	Excel 作表まとめ			
第11回	11	招待状を作成しよう	Word 袋とじ印刷			
第12回	12	試験対策	Word 試験対策			
第13回	13	試験対策	Word 試験対策			
第14回	14	期末試験	Word 期末試験			
第15回	15	期末試験の解説	期末試験の解説と前期の振り返り			
初回持ち物	iPad、筆記用具					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	ITコミュニケーション			クラス名	R2A	
1年単位	前期	-	後期	1 単位	1年合計単位	1 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師	田中 みゆき					
	実務経験	有	企業研修や大学での授業経験をもとに、企業のニーズに応えられるよう指導を行う。			
目的及び概要	Word、Excel、PowerPointの応用機能の学習して、活用方法を学びます。					
到達目標	図及び図形を活用した文書を作成することができる。 作表スキルの習得と、データを扱うための力を身に付ける。 プレゼン資料を作成できる。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	Office2016(実教出版)					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	表現力のある文書の作成	Word 図と図形の挿入の復習			
第2回	2	罫線を活用してカード作成	Word 差し込み印刷 予約カード作成			
第3回	3	作表とワークシートの操作	Excel 予約表作成、ワークシートの操作			
第4回	4	プレゼン作成	PowerPoint復習			
第5回	5	画像の編集と加工	Officeのフォトレタッチ機能			
第6回	6	ノートの活用と印刷	PowerPoint ノートの活用と印刷			
第7回	7	プレゼン作成	PowerPoint プレゼンテーション資料の作成			
第8回	8	プレゼン作成	PowerPoint プレゼンテーション資料の作成			
第9回	9	プレゼン作成	PowerPoint プレゼンテーション資料の作成			
第10回	10	動画作成	PowerPoint フォトアルバム機能 動画作成			
第11回	11	差し込み印刷	Excel データベース機能 Word 宛名ラベル作成			
第12回	12	試験対策	Excel 試験対策1			
第13回	13	試験対策	Excel 試験対策2			
第14回	14	期末試験	Excel 期末試験			
第15回	15	期末試験の解説	期末試験の解説と後期の振り返り			
初回持ち物	USB、筆記用具					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	フレッシュヤーズスキル			クラス名	R2A	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師	宮崎 愛子					
	実務経験	-	老舗専門結婚式場へ勤務。新規から施行まで約400組の結婚式をプロデュース。社会人経験で得た課題対応能力やキャリアプランニング能力を伝えていく。			
目的及び概要	1年後の就職を控え、社会人としての準備をしていく必要がある。「社会に出る前のメンタル強化」を目標にし、自身のストレスコントロール力、良好な人間関係の築き方、対人トラブルの対処法などを学ぶ。					
到達目標	・社会に出てから起こるさまざまな対人トラブルによる離職等を防ぐ ・グループワークを通じて協調性や発信力、傾聴力を鍛える ・様々なタイプの人間がいることを知り、それぞれに対応できる接客スキルを考える					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし(適宜プリントを配布)					
<授業計画>	前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	働くことの意味を考える	私たちはなぜ働くのか／マズローの欲求段階説			
第2回	2	アンガーマネジメント	「怒り」の感情の正体とは			
第3回	3		怒り感情のコントロール方法(自己理解)			
第4回	4		怒り感情との向き合い方・対処法(他者理解)			
第5回	5		クレーム対応／クレームの考え方			
第6回	6	メンタルヘルス コントロール	そもそもストレスとは？ストレスの捉え方			
第7回	7		ストレスの受け取り方／受け流し方を知っておこう			
第8回	8		幸せホルモンとセルフコントロール①			
第9回	9		幸せホルモンとセルフコントロール②			
第10回	10		自分だけのコーピングリストを作成しよう			
第11回	11	アサーティブコミュニケーション	アサーティブの基本／自己表現タイプと心理的ポジション①			
第12回	12		アサーティブの基本／自己表現タイプと心理的ポジション②			
第13回	13		言葉選びと伝え方			
第14回	14	試験	期末試験			
第15回	15	試験解説・まとめ	期末試験解説／FB			
初回持ち物	ipad・筆記用具					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価	基準(右記合計点)	出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		フレッシュヤーズスキル		クラス名	R2A		
1年単位		前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位		前期	1 単位	後期	1 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師		宮崎 愛子					
		実務経験	有	老舗専門結婚式場へ勤務。新規から施行まで約400組の結婚式をプロデュース。社会人経験で得た課題対応能力やキャリアプランニング能力を伝えていく。			
目的及び概要		1年後の就職を控え、社会人としての準備をしていく必要がある。「社会に出る前のメンタル強化」を目標にし、自身のストレスコントロール力、良好な人間関係の築き方、対人トラブルの対処法などを学ぶ。					
到達目標		・社会に出てから起こるさまざまな対人トラブルによる離職等を防ぐ ・グループワークを通じて協調性や発信力、傾聴力を鍛える ・様々なタイプの人間がいることを知り、それぞれに対応できる接客スキルを考える					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		なし（適宜プリントを配布）					
<授業計画>		後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1	社会人への意識改革	学生と社会人の違い／社会人の評価基準				
第2回	2		信用と信頼／仕事を任せてもらえる人材になるために				
第3回	3	成果をあげる接客テクニック	価値基準からベネフィットの考え方を理解する				
第4回	4		傾聴カレッシン／ベネフィットを引き出すロールプレイング①				
第5回	5		傾聴カレッシン／ベネフィットを引き出すロールプレイング②				
第6回	6		SPIN話法で具体的なアプローチを知る				
第7回	7	アサーティブコミュニケーション	アサーティブの基本／自己表現タイプと心理的ポジション①				
第8回	8		アサーティブの基本／自己表現タイプと心理的ポジション②				
第9回	9	新入社員の自己紹介	第一印象の重要性「自己紹介の目的、ルール、伝えるべきこと」①				
第10回	10		第一印象の重要性「自己紹介の目的、ルール、伝えるべきこと」②				
第11回	11		相手の心に届く自己紹介を考えよう				
第12回	12		新社会人になった気持ちで自己紹介をしてみよう				
第13回	13	2年間の総まとめ	大切な人に「ありがとう」を伝える				
第14回	14	試験	後期 期末試験				
第15回	15	試験解説・まとめ	試験解説・まとめ				
初回持ち物		筆記用具					
成績評価方法		・出席率		定期試験	○	筆記試験	
		・定期試験や小テスト				実技試験	
		・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション（提出物）	
成績評価 基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点		
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	就職ガイド			クラス名	R2A	
1年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	-	2年合計単位	1 単位
担当講師	新山 和子・大内 博子					
	実務経験	-	人事教育担当として、企業の採用や学校等で就職活動についてセミナーを担当。新入社員研修の経験を活かして学生指導やサポートを行う。			
目的及び概要	就職活動に必要な知識の習得を行い実践で活かせるようにサポートします。 また、社会人で必要な年間行事マナーを理解し、「働く」ことについて将来のキャリアデザインを考え、卒業後に備えます。					
到達目標	就職活動を通じて、社会人としての理解を深め意識、心構えが出来るようになる。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	就職活動進捗確認	就職活動進捗確認			
第2回	2	オンライン/印象	オンラインの仕方/第一印象の重要性			
第3回	3	就職活動マナー	カバーレター・封筒の書き方・ビジネスメール			
第4回	4		ビジネス電話について(掛ける/受ける)			
第5回	5		報連相、オフィスマナー			
第6回	6	ディスカッション	グループディスカッションについて			
第7回	7		グループディスカッション練習			
第8回	8	一般常識	一般常識問題について(計算)			
第9回	9		一般常識問題について(漢字)			
第10回	10	時事問題	社会問題について			
第11回	11	社会人マナー	暑中・残暑見舞い、年賀状			
第12回	12	ハラスメント	ハラスメント(パワハラ・カスハラ)・動画			
第13回	13	プロ・アマ	プロとアマチュアの違い			
第14回	14	見つめなおす	エゴグラム・上司との付き合い方			
第15回	15	夢・目標	目標を叶えるために			
初回持ち物	筆記用具・就職ファイル・タブレット					
成績評価方法	・出席率		定期試験		筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲			○	課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	イベントプロモーション			クラス名	R2A	
1年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
担当講師	担任					
	実務経験	-	-			
目的及び概要	学校生活や学校行事を通して、人間関係を形成し学校での集団行動やチームワークなどを深める。 協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度をこの授業育てる。					
到達目標	就職活動、社会人としての理解を深める (R2A: 月1限／R2C: 水2限／R2D: 火1限／R2E: 木3限／R2F: 木3限)					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	クラスコミュニケーション	クラス目標／個人目標／リーダー・サブ決め／SAM選出			
第2回	2		マシュマロチャレンジ			
第3回	3	FUSIに向けて	FUSIについてアンケート(どのようなショーにしたいか)			
第4回	4		FUSIについて内容			
第5回	5	スポーツ大会	スポーツ大会(実行委員決め／競技候補)			
第6回	6		競技について話し合い			
第7回	7		競技について話し合い			
第8回	8	クラスコミュニケーション	クラスコミュニケーション (エスグラ事前課題)			
第9回	9		クラスコミュニケーション (エスグラ事前課題、詳細伝達)			
第10回	10	学園祭	学園祭について(出し物候補)			
第11回	11		学園祭について(役割決め／作成物)			
第12回	12		学園祭について(役割決め／作成物)			
第13回	13	期末試験について	夏休みの過ごし方／期末試験について／夏季休業中の登校について			
第14回	14	行事準備	学園祭／スポーツ大会			
第15回	15	アンケート／振り返り	学校生活アンケート／前期振り返り			
初回持ち物	iPad					
成績評価方法	・出席率		定期試験		筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲			○	課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	イベントプロモーション			クラス名	R2A	
1年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
担当講師	担任					
	実務経験	-	-			
目的及び概要	学校生活や学校行事を通して、人間関係を形成し学校での集団行動やチームワークなどを深める。 協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度をこの授業育てる。					
到達目標	就職活動、社会人としての理解を深める					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	目標・FUS	後期目標／リーダー・サブ決め／FUSについて動画視聴			
第2回	2	FUS	FUSについて			
第3回	3	学園祭	企画書作成 / 概要詳細決め			
第4回	4	学園祭	ルール説明			
第5回	5	学園祭／スポーツ大会	概要説明			
第6回	6	スポーツ大会	出場競技決め			
第7回	7	スポーツ大会	ルール説明			
第8回	8	FUS	演出について			
第9回	9	FUS	各クラステーマ・コンセプト決め			
第10回	10	FUS	個人コンセプトシート作成・提出			
第11回	11	FUS	ウォーキングレッスン			
第12回	12	FUS	ウォーキングレッスン			
第13回	13	FUS	ウォーキングレッスン			
第14回	14	FUS	ウォーキングレッスン			
第15回	15	アンケート	学園生活アンケート			
初回持ち物	AIEノート、筆記用具					
成績評価方法	・出席率		定期試験		筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲			○	課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上 80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上 60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上 40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合			

シラバス(授業内容)

科目名	皮膚科学			クラス名	R2A	
1年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	-	2年合計単位	1 単位
担当講師	吉田 里子					
	実務経験	有	理系大学で有機化学専攻後、化粧品会社・エステサロンの実務経験を経てエステサロン・化粧品会社設立			
目的及び概要	1年でやった内容に加え、トラブル肌に関しての知識を高め、AEAに出る範囲の問題も習得すること					
到達目標	お客様へ説明できるような肌への知識を深め、検定の問題も合格点をを目指す					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	②皮膚科学					
<授業計画>	前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	1年の復習とAEAについて	1年の流れの説明と復習			
第2回	2	皮膚の構造とトラブル肌	Chapter5の導入・トラブル肌とは			
第3回	3	発疹の種類	湿疹・発疹の種類			
第4回	4	ニキビ	ニキビの正式名称と状態			
第5回	5	復習兼ねたAEA対策	Chapter1～4範囲のAEA問題			
第6回	6	復習兼ねたAEA対策	Chapter1～4範囲のAEA問題			
第7回	7	復習兼ねたAEA対策	Chapter1～4範囲のAEA問題			
第8回	8	復習兼ねたAEA対策	Chapter1～4範囲のAEA問題			
第9回	9	復習兼ねたAEA対策	Chapter1～4範囲のAEA問題			
第10回	10	敏感肌	敏感肌の理由と対策			
第11回	11	接触皮膚炎	皮膚炎について			
第12回	12	アレルギー性疾患	アレルギーの種類と対策			
第13回	13	テストの話	テスト対策			
第14回	14	期末テスト	期末テスト			
第15回	15	返却	解説と後期の説明			
初回持ち物	教科書(②皮膚科学)、筆記用具					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		生理学		クラス名	R2A	
1年単位		前期	1 単位	後期	2 単位	1年合計単位 3 単位
2年単位		前期	2 単位	後期	2 単位	2年合計単位 4 単位
担当講師		吉田 里子				
		実務経験	有	理系大学で有機化学専攻後、化粧品会社・エステサロンの実務経験を経てエステサロン・化粧品会社設立		
目的及び概要		各臓器を知り、体の中の仕組みを知ること				
到達目標		お客様に体の構造の説明をできるようになることと、AEA上級試験に合格する				
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式				
教科書		③解剖生理学				
<授業計画>		前 期				
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1・2	Chapter1	導入と人体の成り立ち			
第2回	3・4	Chapter2	骨格系			
第3回	5・6	Chapter3	筋系			
第4回	7・8	Chapter4	消化器系			
第5回	9・10	Chapter5	呼吸器系			
第6回	11・12	Chapter6 & 7	泌尿器系・内分泌			
第7回	13・14	Chapter8 & 9	生殖器・循環器			
第8回	15・16	Chapter10	血液			
第9回	17・28	Chapter11	感覚器			
第10回	29・20	Chapter12	神経系			
第11回	21・22	試験対策	AEA対策			
第12回	23・24	試験対策	AEA対策			
第13回	25・26	試験対策	AEA対策			
第14回	27・28	テスト	期末試験			
第15回	29・30	返却	まとめ			
初回持ち物		教科書(③解剖生理学)				
成績評価方法		・出席率		定期試験	○	筆記試験
		・定期試験や小テスト				実技試験
		・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上 80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上 60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上 40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合			

シラバス(授業内容)

科目名		生理学		クラス名	R2A	
1年単位		前期	1 単位	後期	2 単位	1年合計単位 3 単位
2年単位		前期	2 単位	後期	2 単位	2年合計単位 4 単位
担当講師	吉田 里子					
	実務経験	有	理系大学で有機化学専攻後、化粧品会社・エステサロンの実務経験を経てエステサロン・化粧品会社設立			
目的及び概要		各臓器を知り、体の中の仕組みを知ること				
到達目標		お客様に体の構造の説明をできるようになることと、AEA上級認定試験に合格する				
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式				
教科書		③解剖生理学				
<授業計画>		後 期				
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1・2	運動生理学	Chapter5 運動の必要性			
第2回	3・4	運動生理学	Chapter6 筋肉・呼吸器・運動の復習			
第3回	5・6	運動生理学	Chapter7～9 運動のプログラムと実際			
第4回	7・8	試験対策	AEA対策(運動生理学範囲)			
第5回	9・10	心身生理学	Chapter13 脳の構造			
第6回	11・12	Chapter14	ホメオスタシス			
第7回	13・14	Chapter15	免疫			
第8回	15・16	Chapter16	ストレス			
第9回	17・28	Chapter17	心と肥満			
第10回	29・20	Chapter18	スキンタッチの効果			
第11回	21・22	心身生理学まとめ	小問題とAEA問題集導入			
第12回	23・24	試験対策	AEA対策			
第13回	25・26	試験対策	AEA対策			
第14回	27・28	テスト	期末試験			
第15回	29・30	返却	まとめ			
初回持ち物		運動生理学の教科書とノートかルーズリーフ(前期から使用している続き)				
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	化粧品学			クラス名	R2A	
1年単位	前期	-	後期	1 単位	1年合計単位	1 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師	吉田 里子					
	実務経験	有	理系大学で有機化学専攻後、化粧品会社・エステサロンの実務経験を経てエステサロン・化粧品会社設立			
目的及び概要	1年生前期の内容に加えて、ボディ用全般の化粧品や、成分についての知識を深める。また、AEA用の問題集の対策も行う。					
到達目標	お客様に化粧品の説明をできるようになることと、AEA上級試験に合格する					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	⑤化粧品学					
<授業計画>	前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	化粧品学とは	昨年の復習とボディ用品			
第2回	2	ボディ用品①	浴用料、ボディスキンケア			
第3回	3	ボディ用品②	スリミング剤、紫外線ケア			
第4回	4	ボディ用品③	制汗・防臭・脱毛剤・まとめ			
第5回	5	香料①	香りを必要とするか			
第6回	6	香料②	分類とその種類			
第7回	7	AEA問題集	1年の範囲(法律やルール)			
第8回	8	AEA問題集	基礎化粧品の問題			
第9回	9	AEA問題集	テスト対策			
第10回	10	化粧品の原料とは	化粧品の成分の分類			
第11回	11	油性原料	油性原料			
第12回	12	水性原料	水性原料			
第13回	13	その他の成分	期末テスト対策			
第14回	14	期末テスト	期末テスト			
第15回	15	返却	保湿剤について			
初回持ち物	1年生の時のノート、教科書(⑤化粧品学)					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	化粧品学			クラス名	R2A	
1年単位	前期	-	後期	1 単位	1年合計単位	1 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師	吉田 里子					
	実務経験	有	理系大学で有機化学専攻後、化粧品会社・エステサロンの実務経験を経てエステサロン・化粧品会社設立			
目的及び概要	化粧品の構成成分についての知識を深めて、説明できるようになる。					
到達目標	お客様に肌の知識に加え、合う化粧品の説明をできるようになること。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	⑤化粧品学					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	植物抽出エキス	自然成分とは			
第2回	2	界面活性剤	乳化と品質維持			
第3回	3	着色料	色材について			
第4回	4	その他の成分	粘度調整、成型成分			
第5回	5	薬剤①	効果の認められる成分			
第6回	6	薬剤②	特定の効果成分と配合			
第7回	7	問題で演習	テスト対策			
第8回	8	問題集演習	テスト対策			
第9回	9	問題で演習	テスト対策			
第10回	10	販売練習	ケースバイスタディ			
第11回	11	販売練習	ケースバイスタディ			
第12回	12	デモンストレーション	専門用語を使わない基礎化粧品説明			
第13回	13	デモンストレーション	品数多く購入するトーク&メイク用品演習			
第14回	14	期末テスト	期末テスト			
第15回	15	返却	化粧品学まとめ			
初回持ち物	教科書(化粧品学)					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		栄養学			クラス名	R2A	
1年単位		前期	1 単位	後期	-	1年合計単位	1 単位
2年単位		前期	1 単位	後期	-	2年合計単位	1 単位
担当講師		吉田 里子					
		実務経験	有	理系大学で有機化学専攻後、化粧品会社・エステサロンの実務経験を経てエステサロン・化粧品会社設立			
目的及び概要		栄養学を理解し食生活を見直したり、お客様へのアドバイスができるようになることが目的です。サプリメントはあくまで栄養補助食品なので、それに頼らず生活習慣の改善ができるような知識を身につけ、AEAの検定対策もします。					
到達目標		AEA対策と、自分自身の食生活の見直し、お客様へ適切なアドバイスができるようになることが目標となります。					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		栄養学					
<授業計画>		前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1	Capter1	1年時の復習				
第2回	2	Capter2	1年時の復習				
第3回	3	Capter3	サプリメントと添加物と健康				
第4回	4	Capter3	アレルギーと保存料				
第5回	5	AEA対策	1年からの復習をしながらAEA問題と解説				
第6回	6	AEA対策	1年からの復習をしながらAEA問題と解説				
第7回	7	AEA対策	1年からの復習をしながらAEA問題と解説				
第8回	8	AEA対策	1年からの復習をしながらAEA問題と解説				
第9回	9	AEA対策	1年からの復習をしながらAEA問題と解説				
第10回	10	栄養学まとめ	ケーススタディ①				
第11回	11	栄養学まとめ	ケーススタディ②				
第12回	12	栄養学まとめ	ケーススタディ③				
第13回	13	テスト対策	AEA範囲				
第14回	14	期末試験	期末テスト				
第15回	15	解説とまとめ	栄養学のまとめ				
初回持ち物		教科書(⑥栄養学)					
成績評価方法		・出席率		定期試験	○	筆記試験	
		・定期試験や小テスト				実技試験	
		・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率		定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		サロンマネジメント&法規			クラス名	R2A	
1年単位		前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位		前期	1 単位	後期	-	2年合計単位	1 単位
担当講師		吉田 里子					
		実務経験	有	理系大学で有機化学専攻後、化粧品会社・エステサロンの実務経験を経てエステサロン・化粧品会社設立			
目的及び概要		会社の経営と接客方針に対して学び、法律を理解すること					
到達目標		社会の常識と法律を学ぶことで、接客業で生かせるようにすることと、検定も合格すること					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		⑧サロンマネジメント&法規					
<授業計画>		前 期					
回数	コマ数	テーマ		授業内容詳細			
第1回	1	サロンの経営とは		業界の役割			
第2回	2	やりがいのある仕事とは		美容の業務・内容			
第3回	3	サロン業務		クレーム対応とサービス業			
第4回	4	能力評価		経営者と雇用される側			
第5回	5	業界の成長		業界の発展・問題集			
第6回	6	法律関連の話		関連法規とは何か			
第7回	7	施術に関する法律		施術・化粧品・食品に関する法律			
第8回	8	契約と民法		消費者基本法・契約法			
第9回	9	特定商取引とは		特定商取引とは			
第10回	10	分割払いとクレジット		分割について・支払方法・キャッシュレス			
第11回	11	個人情報保護法		会社の守るべきもの&個人のSNS運用			
第12回	12	自主基準とは		国家資格でない法律の基準について			
第13回	13	問題集		テスト対策			
第14回	14	テスト		期末テスト			
第15回	15	返却		解説とまとめ			
初回持ち物		教科書(⑧サロンマネジメント&法規)					
成績評価方法		・出席率		定期試験	○	筆記試験	
		・定期試験や小テスト				実技試験	
		・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率		定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		電気機器学&脱毛学			クラス名	R2A	
1年単位		前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位		前期	1 単位	後期	-	2年合計単位	1 単位
担当講師		吉田 里子					
		実務経験	有	理系大学で有機化学専攻後、化粧品会社・エステサロンの実務経験を経てエステサロン・化粧品会社設立			
目的及び概要		電気に関して理解することで、美容機械に対する知識を深める。					
到達目標		機械の使用の原理を理解し、検定試験の問題を習得すること					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		⑦電気学と⑩脱毛学					
<授業計画>		前 期					
回数	コマ数	テーマ		授業内容詳細			
第1回	1	電気学とは		電気機器学とは			
第2回	2	エステティック機器		施術用機器			
第3回	3	電気の原理		電気の基礎知識			
第4回	4	身体と電気の関係		エステ利用の電気について			
第5回	5	問題集		センター試験の問題			
第6回	6	脱毛学について		脱毛の歴史			
第7回	7	脱毛学概論		脱毛法の分類			
第8回	8	毛髪概論		毛とホルモン			
第9回	9	病気と脱毛		血液感染など			
第10回	10	衛生管理		衛生管理・滅菌・消毒			
第11回	11	カウンセリング		カウンセリングの盲点と要点			
第12回	12	ワックス脱毛		施術方法の分類			
第13回	13	問題集		センター試験の問題			
第14回	14	テスト		期末テスト			
第15回	15	返却		解説			
初回持ち物		教科書(⑦電気機器学と⑩美容脱毛学)					
成績評価方法		・出席率		定期試験	○	筆記試験	
		・定期試験や小テスト				実技試験	
		・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率		定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名			エステ資格取得対策			クラス名	R2A	
1年単位			前期	-	後期	1単位	1年合計単位	1単位
2年単位			前期	-	後期	1単位	2年合計単位	1単位
担当講師			細谷 知永					
			実務経験	有	2年間の集大成となる資格取得が出来るよう、今までの指導経験を活かし全員合格が出来る様指導致します。			
目的及び概要			AEA上級認定エステティシャン筆記試験合格に向けて、毎時間筆記試験を実施致します。問題数が多いため、間違った問題に対し解説を作り覚えませう。また、授業内で模擬試験を行う事で自分の苦手な分野の理解・把握が出来るので自身で試験本番までに対策をします。事前勉強が必須になります。必ず全員で合格出来るよう頑張りませう！					
到達目標			AEA上級認定エステティシャン筆記試験、全員で合格 筆記試験日:2025年12月20日(金)オンサイト受験 ※補講等で授業コマ数変動有り。 この授業では毎回小テストを行います。毎週のテスト範囲を確認し例題集を活用し各自勉強を進めてください。					
授業運営方法			演習形式 ・ 講義形式					
教科書			AEAエステティシャン認定試験 例題集・各テーマの教科書					
<授業計画>			後 期					
回数	コマ数	日程	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1		フェイシャル実技理論	100問模試 間違えた問題に対し教科書で調べ解説を作成 次回授業前までにノート提出厳守				
第2回	2		ボディ実技理論・美容脱毛学					
第3回	3		皮膚科学					
第4回	4		解剖生理学					
第5回	5		心身/カウンセリング/ サロンマネジメント					
第6回	6		東洋・西洋/衛生・消毒/ サロンでの救急					
第7回	7		運動/電気・機器学/関連法規					
第8回	8		エステティック概論 栄養学					
第9回	9		化粧品学					
第10回	10		模擬試験(期末試験)	模擬試験実施 合格点90点 不合格者は放課後再試 ※合格するまで				
第11回	11							
第12回	12		模擬試験(放課後)	模擬試験 合格点90点 不合格者は、合格するまで再試験実施				
第13回	13							
第14回	14		模擬試験(前日補講)	模擬試験 合格点90点 不合格者は、合格するまで再試験実施				
第15回	15							
初回持ち物			AEAエステティシャン上級認定試験 例題集、各テーマの教科書、 資格対策専用ノート(ルーズリーフ不可)、筆記用具					
成績評価方法			・出席率		定期試験	○	筆記試験	
			・定期試験や小テスト				実技試験	
			・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合点)			出席率		定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上		優れている以上 80点以上		優れている以上 80点以上	
点数249～200点		B評価	85%以上		普通以上 60点以上		普通以上 60点以上	
点数199～150点		C評価	80%以上		やや劣る以上 59点以下 ～平均点半分以下		やや劣る以上 40点以上	
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合					

シラバス(授業内容)

科目名		販売心理学		クラス名	R2A		
1年単位		前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位		前期	-	後期	2 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師		吉田 里子					
		実務経験	有	理系大学で販売心理学を習得・その後の会社内でも通信教育を続け高い実績がある			
目的及び概要		自分が大切にしたいお客様に満足していただくということは、どういうことでしょうか。お客様の心理を学び、素敵な接客ができるようになることが目的です。					
到達目標		将来、経営者の心理も理解し、人気のある素敵なビューティーアドバイザーになる第一歩が目標となります。					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		なし					
<授業計画>		後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1・2	導入	販売心理学とは・接客に必要なもの				
第2回	3・4	常識とは	満足と不満足・常識と非常識				
第3回	5・6	小物と心理	財布の持つ価値観と開け方				
第4回	7・8	色の歴史	色によるイメージ支配とコントロール				
第5回	9・10	季節の売り上げ	季節と限定商品				
第6回	11・12	女性脳・男性脳	女性脳と男性脳の購買意欲の違い				
第7回	13・14	経営者の考え方	求人と店のアニュアル・正社員について				
第8回	15・16	営業の基本・ディスプレイについて	儲かる店の法則とは				
第9回	17・28	説得から納得へのトーク	評判は他人目線・話し方で売り上げは変わる				
第10回	29・20	人間観察	自分をどう見せるか・見られるか				
第11回	21・22	プレゼンテーション	クロージングの仕方・コスパ				
第12回	23・24	プレゼンテーション実演	好きなものをクラスメイトに紹介する①				
第13回	25・26	プレゼンテーション実演	好きなものをクラスメイトに紹介する②				
第14回	27・28	期末試験	テスト				
第15回	29・30	解説とまとめ	返却と説明				
初回持ち物		ノートかルーズリーフ					
成績評価方法		・出席率		定期試験		筆記試験	
		・定期試験や小テスト				実技試験	
		・授業参加意欲			○	課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点		
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	ダイエット実習			クラス名	R2A	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	-	後期	1 単位	2年合計単位	1 単位
担当講師	佐々木 圭					
	実務経験	有	スポーツトレーナーの経験を元に健康的なダイエットの仕組みを伝えていく。			
目的及び概要	エステティシャンとして、サロンにおいてダイエットや痩身のニーズは非常に多くあります。カウンセリングの際、ホームケアアドバイスの一部となる「運動」を実践形式を踏まえながら、運動の種類や内容、そしてケースヒストリーを元に運動メニューをプログラムしていけるように目指します。					
到達目標	ダイエットにおける運動プログラム作成・食事の管理・体重体脂肪の管理					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	自分を知らう	現状の自身のカラダを知る			
第2回	2	トレーニング理論①	運動の種類と強度と頻度と時間			
第3回	3	トレーニング理論②	トレーニングにおける原理・原則			
第4回	4	トレーニングメニュー①	ストレッチの方法と種類と注意点			
第5回	5	トレーニングメニュー②	有酸素運動の方法と運動強度			
第6回	6	トレーニングメニュー③	無酸素運動の方法と運動強度			
第7回	7	トレーニングメニュー④	体幹トレーニング			
第8回	8	トレーニングメニュー⑤	体幹トレーニング			
第9回	9	自分を知らう②	カラダの姿勢と歪み			
第10回	10	トレーニングメニュー⑥	下肢のトレーニング			
第11回	11	トレーニングメニュー⑦	上肢のトレーニング			
第12回	12	ケースヒストリー	運動プログラム作成			
第13回	13	ケースヒストリー	運動プログラム作成			
第14回	14	グループ発表	ダイエット実践における効果・考察			
第15回	15	グループ発表	ダイエット実践における効果・考察			
初回持ち物	筆記用具					
成績評価方法	・出席率		定期試験		筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲			○	課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価	基準(右記合計点)	出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	ダイエット検定対策			クラス名	R2A	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	1 単位	後期	-	2年合計単位	1 単位
担当講師	佐々木 圭					
	実務経験	有	スポーツトレーナーの経験を元に健康的なダイエットの仕組みを伝えていく。			
目的及び概要	エステティシャンとしてダイエットの知識は非常に重要な知識となります。現在様々なダイエット法があり、ダイエット方法の変化が著しい現代であるからこそ基本的なダイエット知識を学習し、カリキュラム終了後にダイエット検定2級取得を目指します。					
到達目標	ダイエット検定2級合格					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	ダイエット検定2級					
<授業計画>	前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	日本ダイエット協会趣旨・概要 ダイエット定義	日本ダイエット協会とは・ダイエットとは			
第2回	2	現代ダイエットの基礎知識	メタボリックシンドロームを防ぐダイエットの概念			
第3回	3	体脂肪の基礎知識	あぶら・脂肪細胞・体脂肪について			
第4回	4	体脂肪の基礎知識	三大・五大・六大栄養素・基礎食品群			
第5回	5	カロリーと栄養素とダイエット	カロリー基礎知識			
第6回	6	カロリーと栄養素とダイエット	基礎代謝について			
第7回	7	代謝とリバウンドの基礎知識	リバウンドの基礎			
第8回	8	代謝とリバウンドの基礎知識	インスリン・血糖値・GI値			
第9回	9	インスリンとGI値	インスリンを出さない食べ方等			
第10回	10	インスリンとGI値	ダイエットのための運動法と心拍数について			
第11回	11	運動とダイエットの方法論	運動によるダイエットについて			
第12回	12	運動とダイエットの方法論	まとめ			
第13回	13	検定対策	模擬試験			
第14回	14	期末テスト	授業内範囲			
第15回	15	期末テスト返却	フィードバック			
初回持ち物	ダイエット検定2級テキスト・筆記用具					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		薬膳入門		クラス名	R2A	
1年単位		前期	1 単位	後期	-	1年合計単位 1 単位
2年単位		前期	-	後期	1 単位	2年合計単位 1 単位
担当講師	小林 優子					
	実務経験	有		セルフケア上手になるための日常に密着した薬膳を得意とし、薬膳料理教室での経験をもとに、日々の食事と生活で体調を整える薬膳をお伝えします。		
目的及び概要		薬膳は、カラダの中から整えて、キレイに、元気になれるもの。 毎日の食事、生活を整えることが、健康や美容に繋がります。 自分が元気になる、美しくなるための薬膳を、理論を学び、実践を行いながら、身につけます。				
到達目標		自分の体調や体質を知る事、それに合わせた食事や生活の工夫ができる力を身につけ、自分の体調を整える、自分が美しくなることを目標とします。				
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式				
教科書		なし				
<授業計画>		後 期				
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	オリエンテーション	オリエンテーション			
第2回	2	薬膳体験①	薬膳カウンセリング体験 ・薬膳体質(気血水・臓腑)の復習を行う ・相手の体や心の健康状態を聞くデモンストレーションを見て、食事や生活でできるアドバイスを行う体験をする。			
第3回	3	薬膳体験②				
第4回	4	薬膳体験③				
第5回	5	薬膳体験④				
第6回	6	薬膳体験⑤				
第7回	7	体質別薬膳①	冷えについて／毎日の食事のできる体質別の冷えケアとレシピ作りを学ぶ			
第8回	8	体質別薬膳②	月経痛について／毎日の食事のできる体質別の月経痛ケアとレシピ作りを学ぶ			
第9回	9	体質別薬膳③	美肌について／毎日の食事のできる体質別の美肌ケアとレシピ作りを学ぶ			
第10回	10	体質別薬膳④	体質別の薬膳茶を体験する			
第11回	11	体質別薬膳⑤	プレゼンテーション準備			
第12回	12	プレゼンテーション	体質別薬膳①～③を学んだ上で自分に合う食生活体験のプレゼンテーション			
第13回	13	試験対策	試験対策			
第14回	14	期末試験	期末試験			
第15回	15	最終まとめ	試験振り返りほか			
初回持ち物		筆記用具				
成績評価方法		・出席率		定期試験	○	筆記試験
		・定期試験や小テスト				実技試験
		・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上 80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上 60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上 40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合			

シラバス(授業内容)

科目名	フェイシャル実技理論&カウンセリング			クラス名	R2A	
1年単位	前期	-	後期	1 単位	1年合計単位	1 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	-	2年合計単位	1 単位
担当講師	菊谷 未歩 ・ 田村 舞					
	実務経験	有	エステティシャン、インストラクターの経験をもとに検定試験合格に必要な、機器やカウンセリングのスキル、接客接遇マナーの指導を行う			
目的及び概要	AEA上級認定エステティシャン資格取得を目標にした知識習得の授業です。 技術の検定で必要なカウンセリング、アドバイス、禁忌事項、お肌やお悩みに合わせた化粧品や機器選定などについて学びます。					
到達目標	AEA上級認定エステティシャン資格取得 フェイシャルの施術を行う上で必要な知識の習得(理論・禁忌や確認事項・機器)とカウンセリング力の向上					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	⑤フェイシャル実技理論・化粧品学/②皮膚科学/③解剖生理学/⑥栄養学					
<授業計画>	前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	お悩みの復習	各お悩みの復習			
第2回	2					
第3回	3	コンサル作成	ペアコンサル作成			
第4回	4					
第5回	5	ホームケアアドバイスについて	ホームケアアドバイスの答え方について			
第6回	6	口頭試問作成	口頭試問用紙作成			
第7回	7					
第8回	8	コンサル・口頭確認。修正	コンサル・口頭試問練習			
第9回	9					
第10回	10					
第11回	11	期末テスト対策	実技期末テスト対策			
第12回	12	復習	コンサル・口頭試問復習			
第13回	13	実技本番対策	実技本番試験対策			
第14回	14	期末テスト	期末テスト			
第15回	15	テスト返却	テスト返却			
初回持ち物	筆記用具、実技ファイル、フェイシャル実技理論教科書					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	ボディ実技理論&カウンセリング			クラス名	R2A	
1年単位	前期	-	後期	1 単位	1年合計単位	1 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	-	2年合計単位	1 単位
担当講師	菊谷 未歩					
	実務経験	有	エステティシャン、インストラクターの経験をもとに検定試験合格に必要な、機器やカウンセリングのスキル、接客接遇マナーの指導を行う			
目的及び概要	AEA上級認定エステティシャン資格取得を目標にした知識習得の授業です。 技術の検定で必要なカウンセリング、アドバイス、禁忌事項、お肌やお悩みに合わせた化粧品や機器選定などについて学びます。					
到達目標	AEA上級認定エステティシャン資格取得 ボディの施術を行う上で必要な知識の習得(理論・禁忌や確認事項・機器)とカウンセリング力の向上					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	④ボディ実技理論・運動生理学/③解剖生理学/⑥栄養学					
<授業計画>	前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	口頭試問について	メカニズムの説明について			
第2回	2		ホームケアアドバイスについて			
第3回	3	コンサル	コンサルについて			
第4回	4					
第5回	5	口頭試問作成	口頭試問用紙作成			
第6回	6					
第7回	7					
第8回	8	コンサル・口頭確認	コンサル・口頭試問練習			
第9回	9					
第10回	10	期末対策	期末対策			
第11回	11	口頭確認・修正	コンサルと口頭の確認・修正			
第12回	12	本番試験対策	本番に向けて最終確認			
第13回	13	理論期末対策	理論復習			
第14回	14	期末テスト	期末テスト			
第15回	15	テスト返却	テスト返却			
初回持ち物	筆記用具、実技ファイル、ボディ実技理論教科書					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		応用実技理論			クラス名	R2A	
1年単位		前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位		前期	-	後期	1 単位	2年合計単位	1 単位
担当講師		石毛 彩花					
		実務経験	有	エステティシャン・インストラクターの経験を元に、知識や技術を復習し、さらに、さまざまなお客様に対応できる接客を身に付けるよう指導していく。			
目的及び概要		応用実技の授業にリンクした内容を学んでいきます。 応用実技の目的に沿って即戦力として対応できるようにスキルアップを図ります。					
到達目標		・卒業後、即戦力となるよう、対応力・技術力を身に付ける ・「教室は仕事場である」を基に行動していく					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		実技ファイル・ボディ実技理論・カウンセリング					
<授業計画>		後 期					
回数	コマ数	テーマ		授業内容詳細			
第1回	1	スケジュール確認 / 実技向上		メジャーリングについて			
第2回	2	機器オプション 概要		足湯／バンテージ／低周波／カッピング			
第3回	3			ホットストーン / かっさ / ヒートマット			
第4回	4			タラソセラピー／フットケア			
第5回	5	サロンでの対応 実践編		お茶出し			
第6回	6			電話対応 実践			
第7回	7			電話対応 実践			
第8回	8			クレーム対応			
第9回	9	接客術		顧客タイプ別対応①			
第10回	10			顧客タイプ別対応②			
第11回	11	卒業制作		卒業制作 ビューティブック作成			
第12回	12			卒業制作 ビューティブック作成			
第13回	13			卒業制作 ビューティブック作成			
第14回	14	期末試験		期末試験			
第15回	15	返却		期末試験返却			
初回持ち物		実技ファイル(2年前期まで使用したプリント類マニュアル等)、筆記用具					
成績評価方法		・出席率		定期試験	○	筆記試験	
		・定期試験や小テスト				実技試験	
		・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率		定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		化粧品検定2級			クラス名	R2A	
1年単位		前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位		前期	-	後期	1 単位	2年合計単位	1 単位
担当講師		本多 誓子					
		実務経験	有	日本化粧品検定協会コスメコンシェルジュインストラクター資格取得。 美容師としての実務経験を活かし美容の知識を幅広く指導し、化粧品検定合格へと導く。			
目的及び概要		化粧品検定の資格取得を通じて、美容の奥深さと楽しさを知り、より美容に詳しいカウンセリングができる美容クリエイターの育成サポート					
到達目標		日本化粧品検定2級 取得					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		テキスト					
<授業計画>		後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1	美容皮膚科学	皮膚構造としくみ P52～67				
第2回	2	美容皮膚科学	皮膚構造としくみ P52～67				
第3回	3	美容皮膚科学 肌の手入れと正しい知識	皮膚構造としくみ P52～67 P72～				
第4回	4	美容皮膚科学 肌の手入れと正しい知識	皮膚構造としくみ P52～67 P72～				
第5回	5	肌の手入れと正しい知識	肌タイプと見分け方～ P～93				
第6回	6	肌の手入れと正しい知識	肌タイプと見分け方～ P～93				
第7回	7	紫外線が肌に与える影響 美肌・美ボディへの対策	紫外線が肌に与える影響 P120～ 美肌・美ボディへの対策P112～119 P126～137				
第8回	8	紫外線が肌に与える影響 美肌・美ボディへの対策	紫外線が肌に与える影響 P120～ 美肌・美ボディへの対策P112～119 P126～137				
第9回	9	メイクアップの 基本テクニックP.94～	P94～107 試験ポイント				
第10回	10	メイクアップの 基本テクニックP.94～	P94～107 試験ポイント				
第11回	11	期末テスト	模擬試験				
第12回	12	期末テスト	模擬試験				
第13回	13	テスト返却・答え合わせ	解説と検定対策(おさらい)				
第14回	14	テスト返却・答え合わせ 検定対策	解説と検定対策(おさらい)				
第15回	15	検定本番	日本化粧品検定2級 受検				
初回持ち物		2級・3級対策テキスト 問題集 手鏡(毎回持参) メイクアップ講座の際には手持ちのメイク道具					
成績評価方法		・出席率		定期試験	○	筆記試験	
		・定期試験や小テスト				実技試験	
		・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率		定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受検・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		エステティックボディ実技		クラス名	R2A	
1年単位		前期	-	後期	4 単位	1年合計単位 4 単位
2年単位		前期	4 単位	後期	-	2年合計単位 4 単位
担当講師	菊谷 未歩 ・ 中島 タ希					
	実務経験	有	検定試験監督者が講師のため、検定試験合格に必要な部分の指導を行いながら資格取得を目指す			
目的及び概要		AEA上級認定エステティシャン資格取得を目標にした技術習得授業です。検定での試験項目はカウンセリング力、技術力、専門知識力、アドバイス力、接客力の5項目が求められます。他講義で学んだ総合的な知識が技術とともにお客様の体や悩みに合わせて提供することができるように学んでいきます。				
到達目標		AEA上級認定エステティシャンボディ実技試験合格 身体の悩みの原因やメカニズム、最適なトリートメント、アドバイス等をお客様に説明できるようになる。また優れたホスピタリティマインドを保有するエステティシャンを目指す。				
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式				
教科書		なし				
＜授業計画＞		前 期				
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1－4	全身復習	全身マッサージ練習			
第2回	5－8	筋肉の確認・手付き練習	筋肉の位置確認・マッサージ手付き練習			
第3回	9－12	ボディチェックの仕方	ボディチェック→全身練習			
第4回	13－16	コンサル	コンサル記入練習→出来たら全身練習			
第5回	17－20	手順・手付きチェック	手順・手付きチェック			
第6回	21－24	流れ練習	コンサル→流れ練習			
第7回	25－28					
第8回	29－32	試験対策	試験の流れ練習・口頭試問			
第9回	33－36					
第10回	37－40					
第11回	41－44	期末＆模擬	期末＆模擬テスト			
第12回	45－48	フィードバック	フィードバック			
第13回	49－52	試験本番	試験本番			
第14回	53－56	ボディ機器	ボディ機器			
第15回	57－60					
初回持ち物・準備物		フルメイク、実技ファイル、ロープ、シート、フェイスタオル10枚(そのうちHOT5枚) 筆記用具、メモ帳、ハンカチ、ビニール袋 ・タイマー ※化粧品必要なもの準備				
成績評価方法		・出席率		定期試験	筆記試験	
		・定期試験や小テスト			○ 実技試験	
		・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上 80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上 60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上 40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合			

シラバス(授業内容)

科目名		エステティックフェイシャル実技		クラス名	R2A	
1年単位		前期	-	後期	8 単位	1年合計単位 8 単位
2年単位		前期	4 単位	後期	-	2年合計単位 4 単位
担当講師		菊谷 未歩 ・ 深山 美咲 ・ 田村 舞				
		実務経験	有	検定試験監督者が講師のため、検定試験合格に必要な部分の指導を行いながら資格取得を目指す		
目的及び概要		AEA上級認定エステティシャン資格取得を目標にした技術習得授業です。検定での試験項目はカウンセリング力、技術力、専門知識力、アドバイス力、接客力の5項目が求められます。他講義で学んだ総合的な知識が技術とともにお客様の体や悩みに合わせて提供することができるように学んでいきます。				
到達目標		AEA上級認定エステティシャンフェイシャル実技試験合格 肌トラブルの原因やメカニズム、最適なトリートメント、スキンケアアドバイス等をお客様に説明できるようになる。また優れたホスピタリティマインドを保有するエステティシャンを目指す。				
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式				
教科書		なし				
<授業計画>		前 期				
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1－4	復習	クレンジング→マッサージ手付き練習			
第2回	5－8	コンサル	クレンジング→肌チェック→コンサル→マッサージ練習			
第3回	9－12	マッサージチェック	クレンジング→コンサル→マッサージチェック・フィードバック			
第4回	13－16	ペアコンサル	コンサル・マッサージ→パック			
第5回	17－20	口頭試問	クレンジング→コンサル→口頭試問→マッサージ			
第6回	21－24		コンサル・口頭試問→マッサージ→パック			
第7回	25－28	試験対策	流れ練習(チェンジあり)			
第8回	29－32					
第9回	33－36					
第10回	37－40	期末&模擬テスト	期末&模擬テスト			
第11回	41－44	フィードバック	流れ練習(チェンジあり)			
第12回	45－48	本番	本番(チェンジあり)			
第13回	49－52	いろいろなエステティック	フェイシャル機器やパック等			
第14回	53－56					
第15回	57－60					
初回持ち物・準備物		フルメイク、実技ファイル、ローブ、シーツ、フェイスタオル6枚(そのうちHOT2枚)、Wコットン5枚 筆記用具、メモ帳、ハンカチ、ビニール袋・マスク・タイマー ※化粧品必要なもの準備				
成績評価方法		・出席率		定期試験		筆記試験
		・定期試験や小テスト			○	実技試験
		・授業参加意欲				実施しない(提出物)
成績評価 基準(右記合点)		出席率		定期試験		平常点
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上 80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上 60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上 40点以上
点数149点以下		D評価	未試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場			

シラバス(授業内容)

科目名	サロン運営			クラス名	R2A	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	6 単位	後期	6 単位	2年合計単位	12 単位
担当講師	深山 美咲 ・ 田村 舞					
	実務経験	有	エステティシヤンの経験を元に、サロン経営をしていく中で必要な知識や技術を復習し、さまざまなお客様に対応できる接客を身に付けるよう指導し、実際にサロンを運営していく。			
目的及び概要	学内サロン運営を目標とした実習授業です。授業内では、企業の店舗と同様にお客様をお迎えし、カウンセリング・必要な技術の提案後、技術提供してからホームケアアドバイスや施術の必要な来店頻度など一連の流れに沿って実践します。定期的に一般のお客様をお呼びし、代金の授受をする学生サロンを開き、実践力を身に付けます。					
到達目標	・チームワーク(積極性)・品格の向上・コミュニケーション能力の向上(カウンセリング力)。 ・自主性・責任感を身に付ける。 ・「教室は仕事場である」を基に行動していく。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1ー6	オリエンテーション/技術練習	授業説明(指針)/技術練習 足湯+上級マッサージ練習(脚表裏)			
第2回	7ー12	カウンセリング/オプション術練習	カウンセリング/ロールプレイング/ ヘッドマッサージ・かつさ+マッサージ練習			
第3回	13ー18	役割決め/オプション練習	資料作成／パイプレーション・超音波・マッサージ			
第4回	19ー24	本番コース練習 (痩身・リラク・全身・美肌)	資料作成・マニュアル作成／技術・導線練習			
第5回	25ー30		資料作成・マニュアル作成／技術・導線練習			
第6回	31ー36	リハーサル	Aチーム リハーサル (Bチームモデル)			
第7回	37ー42		Bチーム リハーサル (Aチームモデル)			
第8回	43ー48	-	エスグラ(授業なし)			
第9回	49ー54	本番に向けて最終調整	リハ反省共有／本番に向けて最終確認／練習			
第10回	55ー60	サロン運営本番(期末試験)	サロン運営本番①			
第11回	61ー66		サロン運営本番②			
第12回	67ー72	振り返り／反省／技術練習	反省会・共有 / 修正・練習			
第13回	73ー78	サロン運営本番(期末試験)	サロン運営本番③			
第14回	79ー84		サロン運営本番④			
第15回	85ー90	振り返り	振り返り/後期に向けての話し合い・目標検証 / お楽しみ授業			
初回持ち物	実技ファイル、シーツ、ロープ、タオル、その他いつもと同じ 制服はギャルソン(検定授業以上に身だしなみは整えて参加ください)					
成績評価方法	・出席率		定期試験		筆記試験	
	・定期試験や小テスト			○	実技試験	
	・授業参加意欲				実施しない(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上 80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上 60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上 40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合			

シラバス(授業内容)

科目名		サロン運営			クラス名	R2A	
1年単位		前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位		前期	6 単位	後期	6 単位	2年合計単位	12 単位
担当講師		エステ講師					
		実務経験	有	エステティシヤンの経験を元に、サロン経営をしていく中で必要な知識や技術を復習し、さまざまなお客様に対応できる接客を身に付けるよう指導し、実際にサロンを運営していく。			
目的及び概要		『サロン運営』は、外部のお客様を自身で集客し管理をします。 ①前期の反省を活かし、よりよいサロンづくりへ ②集客をし、顧客管理をする(予約管理)、またリピートへ繋げる。 ③お金をいただくことの大切さを知る。※ご満足から”感動”していただける技術・接客					
到達目標		・チームワーク(積極性)・品格の向上・コミュニケーション能力の向上(カウンセリング力) ・先読み行動し即戦力を身に付ける ・「教室は仕事場である」を基に行動していく					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		なし					
<授業計画>		後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1－6	オリエンテーション/資料作成	後期スケジュール説明(目標)／資料作成				
第2回	7－12	本番コース練習 (ボディ)	動線確認 ・ 本番コース技術練習①				
第3回	13－18		動線確認 ・ 本番コース技術練習②				
第4回	19－24		動線確認 ・ 本番コース技術練習③				
第5回	25－30	リハ前調整	リハ前調整 (資料作成追加分・技術練習)				
第6回	31－36	ボディ リハ	BO本番同様 リハーサル				
第7回	37－42	サロン運営本番(期末試験) 11/25	サロン運営本番①BO(Aチーム/Bチーム) 前半後半2回転				
第8回	43－48	フェイシャル リハ	Fe本番同様 リハーサル				
第9回	49－54	サロン運営本番(期末試験) 12/9	サロン運営本番②Fe(Aチーム/Bチーム) 前半後半2回転				
第10回	55－60	反省会/お楽しみ	反省会・お楽しみ				
第11回	61－66	リハ前調整	リハ前調整 (チームMTG・技術練習)				
第12回	67－72	本番に向けて最終調整	リハ反省共有／本番に向けて最終確認／練習				
第13回	73－78	サロン運営本番(期末試験) 1/27 ・ 2/3	サロン運営本番③(AチームFe/BチームBo) ※スパムも使用				
第14回	79－84		サロン運営本番④(AチームBo/BチームFe) ※スパムも使用				
第15回	85－90	振り返り	振り返り ・ 表彰 /お楽しみ授業				
初回持ち物		初回は私服可。(髪は必ずまとめること※おろしていた場合は忘れもの扱い) 実技ファイル、筆記用具 /教室AMSパス① PMITルーム					
成績評価方法		・出席率		定期試験		筆記試験	
		・定期試験や小テスト			○	実技試験	
		・授業参加意欲				実施しない(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点		
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		エステティック応用実技			クラス名	R2A	
1年単位		前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位		前期	-	後期	5 単位	2年合計単位	5 単位
担当講師		エステ講師					
		実務経験	有	エステティシヤンの経験を元に、必要な知識や技術を復習し、さまざまなお客様に対応できる接客を身に付けるよう指導していく。			
目的及び概要		応用実技の目的に沿って即戦力として対応できる知識と技術を学びます。 主にエステティックに必要な、あらゆるオプションや機器・技術の向上を目指します。					
到達目標		・卒業後、即戦力となれるよう、対応力・技術力を身に付ける ・「教室は仕事場である」を基に行動していく					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		なし					
<授業計画>		後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1－5	スケジュール確認/実技向上	技術練習Fe(エレクトロ・ピールオフパック) ・ヘッドマッサージデモ				
第2回	6－10	実技向上・カウンセリング	技術練習Fe(キッシング・バター・ジェルパック) ・カウンセリング				
第3回	11－15	サロン運営準備(フェイシャル)	サロン運営 コース練習①				
第4回	16－20		サロン運営 コース練習②				
第5回	21－25		サロン運営 コース練習③				
第6回	26－30	メジャーリング	メジャーリング、痩身マッサージ、オプション				
第7回	31－35	応用手技・お楽しみ	ロミロミ・ホットストーン・ヒートマット				
第8回	36－40		ロミロミ・ホットストーン・ヒートマット				
第9回	41－45	ワックス脱毛	ワックス脱毛				
第10回	46－50	ダイエット実習 実践 ①～④ (メジャーリングあり)	①12/10 ダイエット実習 実践				
第11回	51－55		②12/17 ダイエット実習 実践				
第12回	56－60		③1/9 ダイエット実習 実践				
第13回	61－65		④1/21 ダイエット実習 実践				
第14回	66－70	期末試験対策	期末テスト対策				
第15回	71－75	期末試験	期末テスト				
初回持ち物		制服: 初回ナース服、夜会巻き、フルメイク シート、ローブ、フェイスタオル5枚、ホットタオル3本、ウェットコットン7枚、水道水コットン2枚、かがみ 実技ファイル、ハンドタオル、筆記用具、メモ帳、タイマー、ビニール袋					
成績評価方法		・出席率		定期試験		筆記試験	
		・定期試験や小テスト			○	実技試験	
		・授業参加意欲				実施しない(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験			平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		アウタービューティレッスン			クラス名	R2A	
1年単位		前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位		前期	-	後期	3 単位	2年合計単位	3 単位
担当講師		根本 夏味 ・ 浅岡 久美					
		実務経験	有	日本メイクアップ技術検定取得 美容部員の経験を活かし、接客方法やメイクの基礎からトレンドメイクなどの幅広いメイク技術を伝えていく。			
目的及び概要		1年時はメイクアップの基礎とヘアアレンジの基礎を実習を通して学びます。メイクアップでは、ベースメイクからフルメイクを学び、ヘアアレンジでは、アイロンの使い方、編み込みを取り入れた簡単なアレンジ方法を相モデルで実践し人に施術ができるようになることを目標としています。2年時は基本のメイクアップ、ヘアアレンジ技術だけでなく様々なシチュエーションに合わせたテクニックをそれぞれ学ぶことで、エステティックの仕事の幅を広げることを目標としています。					
到達目標		メイク用品の使い方を理解する。 骨格やイメージによるメイクの違いを理解する。 ヘア道具の使い方を理解し、アレンジをできるようにする。					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		なし					
<授業計画>		後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1－3	ベースメイク	道具の使い方や基本の確認/艶肌のつくり方（すっぴん）				
第2回	4－6	ポイントメイク	ポイントメイクの復習/束感まつ毛（ベースメイクのみして来る）				
第3回	7－9	ヘア①	道具の使い方や基本の確認/ ウェーブ(メイクOK)				
第4回	10－12	メイク	トレンドメイク①化粧品メーカーのオータムルック(すっぴん)				
第5回	13－15	海外のメイク	アジア国のメイク（すっぴん）				
第6回	16－18	ヘア②	相モデルでアレンジ/ダウンスタイル（メイクOK）				
第7回	19－21	年代別メイク	1920～1960年代のメイク（すっぴん）				
第8回	22－24	メイク	トレンドメイク②アイドルのトレンドメイク(すっぴん)				
第9回	25－27	ヘア③	相モデルでアレンジ/アップスタイル（メイクOK）				
第10回	28－30	メイク	トレンドメイク②アイドルメイク(すっぴん)				
第11回	31－33	ギャルメイク	好きな年代のギャルメイク（すっぴん）				
第12回	34－36	期末テスト練習1	イメージメイク（すっぴん）				
第13回	37－39	期末テスト①	イメージメイク（すっぴん）				
第14回	40－42	期末テスト②	イメージメイク（すっぴん）				
第15回	43－45	FUSに向けて	FUSのヘア&メイク練習				
初回持ち物		白タオル3枚、メイクブラシ、ダッカール、タオル留めクリップ、スポンジ、パフ、ティッシュ、ゴミ袋、綿棒 すっぴん					
成績評価方法		・出席率		定期試験	○	筆記試験	
		・定期試験や小テスト				実技試験	
		・授業参加意欲				実施しない(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点		
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				